

乗客の安全確保のために

2009年の法改正により、地震感知器の設置および管制運転の装備が定められました。地震を感知した場合、エレベーターを最寄り階に停止させ、乗客を素早く避難させます。

製品特徴

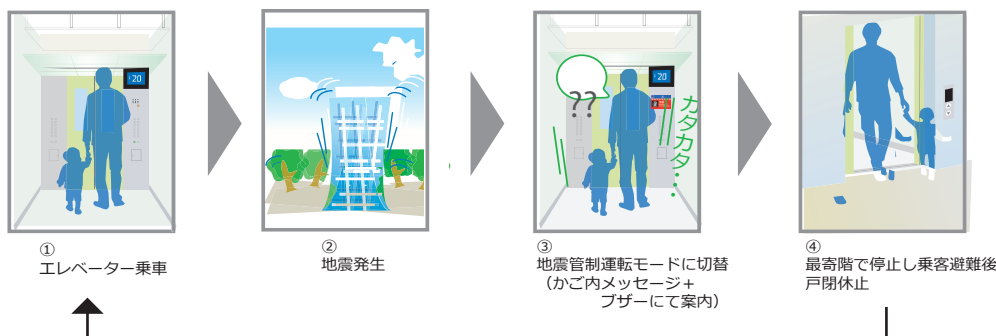
- 地震感知器には、初期微動用のP波センサーと主要動（本震）用のS波センサーがあります。初期微動は揺れが伝わる速度が早く揺れが小さいという特徴があり、主要動は揺れが伝わる速度が遅く揺れが大きいという特徴があります。P波感知器を設置する事で、主要動が来る前にエレベーターを最寄階に停止させ、安全な避難が可能になります。またS波センサーには2段階の設定があります。



S波感知器



かご内表示例



本震がなければ約60秒後に通常運転に復帰します。（本震が来た場合は継続休止）

作業内容

■作業工程

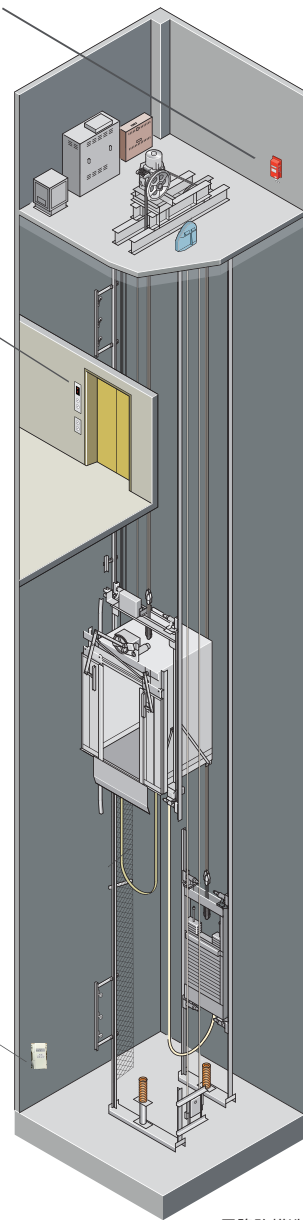
- ・ご契約から納品まで約2～4カ月程度です。（生産状況で前後します。）
- ・作業時間は3～6時間程度です。（建物状況によって異なります。）

■作業内容

地震感知器設置工事、制御盤改造工事、
各機器間の配線工事



P波感知器



昇降路構造図

地震感知の設定値

建物高さ	P波	地震感知器の設定値 (Gal)		
		特低	低	高
60mまで	2.5	—	100,120 (頂部設置) 40,60,80,100,120 (底部設置)	300 (頂部設置) 120 (底部設置)
60mを超え 120mまで	5	40 (60m～90m) 20 (90m～120m) (頂部設置)	100,120 (頂部設置) 40,60,80,100,120 (底部設置)	120,150 (頂部設置) 60,80,100,120,150 (底部設置)
120mを超える	10	長尺物振れ感知器を適用	40,60,80,100 (頂部設置) 40,60,80,100,120 (底部設置)	60,80,100,120 (頂部設置) 60,80,100,120,150 (底部設置)